

# “建設新技術” 発表・評価・活用研究会 1306 大阪

CPDS 認定講座

NETIS に登録されている新技術(工法、材料、機械、製品、システム)は約 4,500 件、登録予定及び未登録を含めると膨大な数の新技術があります。当該工事に適した技術提案を過去の事例や手元資料、WEB検索で選択、評価、内容の把握は難しく、直接に説明を受けたり質疑応答の機会があればとの要望に応えるべく、新技術開発企業と導入・活用する立場にある発注者、設計者・建設コンサルタント、施工技術者が双方向で学習・研究することを目的に開催致します。

併せて本研究会では発表者の説明を一方的に受け入れるだけでなく、受講者からの評価・質問、逆提案、施工ヒントの提供などを交え、WEBでは得られない実りある学習を目指します。積極的な参加をお待ちしております。

【日時】 平成 25 年 6 月 25 日(火) 12:45 ~ 16:55 (受付 12:30 より)  
 【会場】 土木学会関西支部会議室 大阪市中央区船場中央 2-1-4-409

| プログラム(概要)  |  | 発表企業                  |
|--|--|-----------------------|
| 研究会オリエンテーション<br>「建設新技術の発想～事業化、A I D M A の法則」   |  |                       |
| 『高強度ジオシンセティックを用いた液状化変形抑制工法』について  |  | エターナル<br>プレザーブ株式会社    |
| 移動型建設発生土有効利用システム『土壌くん』は締め固めが困難な粘性土等 1 種類を含む、最大 3 種類の土質材料を所定の比率で配合・混合・製造、環境負荷を軽減し、品質の向上を実現。 |  | 巴山土木<br>(代行:えん総研)     |
| 過去に本研究会で発表され、好評を得た『建設新技術 十数点』の紹介   |  |                       |
| 下水道工事経験を活かシマンホール築造工事に着目し、専用土木機械を開発し、工期短縮、コスト削減を図る『立抗兼マンホール構築システム(Vホール工法)』の技術を確立し実績を蓄積中。    |  | 福岡建設株式会社              |
| 鉄とゴムの活用に強み、『Vゲート』はゲリラ豪雨や津波による地下施設の出入り口への浸水を電力不用で止水を実現。新たにゴム堰補修で土壌に替わる簡便止水工法を実現。            |  | 木下工業株式会社<br>(代行:えん総研) |
| 『リンクプレート』は溶接部分の切断による敷鉄板のバツキから起こる重大事故の発生を 방지、安全で取り付け簡単、鉄板返却時の修繕費も不要。                        |  | 大商鋼材株式会社<br>大商鋼材株式会社  |
| 常識を打ち破る 4.0m の新型覆工板『プレストレスデッキ』により、大幅な工期短縮とコスト削減を実現。  |  |                       |
| まとめ  |  |                       |

【CPD、CPDS等について】 JCM: CPDS の認定取得、4 ユニットが得られます。  
 又建設系 CPD 協議会の相互認定により加盟団体(会員)の CPD が得られます。  
 【定員】 20 名 (定員になり次第締め切ります。)  
 【受講料】 無料。(但し受講規約に順ずる)  
 【主催者・問い合わせ】 有限会社 えん総合研究所 大阪府高槻市真上町 3 丁目 7 番 35 号  
 TEL & FAX 072-682-8961 (担当:長谷)メール in@en2.jp HP http://www.en2.jp  
 近々発表希望の方も問合せ下さい。

## 【講師紹介】

有限会社 えん総合研究所 代表取締役 長谷 利男(進行役、ワンポイント 担当)

建設企業の経営戦略の策定、営業力強化指導、新分野進出調査・策定、開業指導、階層別・テーマ別研修(経営幹部管理職、現場主任、新入社員、目標管理等)や ISO9001、14001 等の構築指導。土木学会会員、日本建築学会会員。

## 発表企業の説明者の方々

企業の紹介、開発の背景・動機、苦労・苦心、新技術・新工法・新資機材の概要、特徴、販売、価格、生産・納品体制、実績、成果、現在の課題、今後の展開などについて可能な限り情報開示・説明。状況により長谷が代行説明致します。

## 【お申込方法及び代行申請】

申込書をご記入、FAX またはメール(申込書ファイル添付)でお申し込み下さい。折り返し「受付」並びに「受講規約」「受講券」を FAX にて連絡致します。尚弊社は CPDS 受講実施機関として講座修了後受講者に代って学習履歴申請をします。該当者は JCM(社団法人全国土木施工管理技士会連合会)「CPDS 技術者証」(カード)をご持参下さい。CPDS 対象者の受講証明書を発行しませんので注意して下さい。

## 【受講申込書】 H. -----

FAX 072-682-8961

|                  |                            |     |        |     |               |   |
|------------------|----------------------------|-----|--------|-----|---------------|---|
| 講座名              | “建設新技術” 発表・評価・活用研究会 1306大阪 |     |        | 開催日 | 平成25年6月25日(火) |   |
| 会社名              |                            | 所在地 | 〒      |     |               |   |
| 申込責任者            | 氏名                         |     | E-mail |     |               |   |
|                  | 役職                         |     | TEL    | FAX |               |   |
| 参加者フリガナ<br>氏名・年齢 |                            | 才   |        |     |               | 才 |
|                  |                            | 才   |        |     |               | 才 |

【個人情報保護】 弊社では経営コンサルティング業務、社員教育、新商品・サービスに関する情報をお知らせする目的で個人情報を保有しております。頂いた個人情報はセミナー受講券の発送などに利用いたします。又今後前述の目的にも利用いたします。



有限会社 えん総合研究所